

部署行動計画

特別養護老人ホーム 介護3階

令和4年度を振り返って

- 職員間で協力し、日頃から環境整備を行ったことで、ご入居者へ安楽な環境を提供できた。
- コロナ禍で、他フロア応援など、職員が不足する中、各自ができることを考え、対応することができた。
- 年間通して、喜んでいただける行事を行うことができて良かった。
特にコロナ禍で外出の機会が減っている状況での外出行事は、会話も弾み、笑顔もたくさん見られた。
- 令和5年度も職員間で報告・連絡・相談を大切に、日頃からコミュニケーションを大切にして、ご入居者状態把握に努め、個別ケアに繋がられるようにする。

令和5年度 私たちが目指すもの

「ご入居者が心地よく過ごしやすいと感じていただけるフロア」

- ◆ 1人ひとりに合わせた統一したケアを行う。
- ◆ 皆で情報を共有、発信できる環境をつくる。
- ◆ ご入居者がその人らしく過ごせるくつろぎの空間づくり。

具体的行動

◆ ご入居者・ご利用者に対して

～1人ひとりに合わせた、統一したケアを行う～

- ① ご入居者目線を第一に希望や思いに沿ったケアを行う。
- ② 1人ひとりのペースに合わせたご入居者主体のケアを行う。
- ③ 24時間シートに沿って差のない統一したケアを行う。

◆ 職員として

～皆で情報を共有、発信できる環境をつくる～

- ① 職員同士声をかけあい、ご入居者の小さな変化に早期に気付き対応できるようにする。
- ② 介護のプロとして常に向上心を持ち、新しい介助方法や知識を学び機会現場で活かせるよう励む。
- ③ 他職種と連携し、情報の共有化を図る。

◆ 環境整備

～ご入居者が、その人らしく過ごせる、くつろぎの空間をつくる～

- ① ユニットケア＝暮らしの継続であることを常に意識し、その人らしい空間をつくるよう努める。
- ② 4S(整理、整頓、清掃、清潔)に気を配る。
- ③ 感染対策のためにも、換気や消毒を含めた環境整備を怠らない。

◆ 口腔ケア

～ご入居者に合った正しい口腔ケアを提供する～

- ① 訪問歯科診療と連携し、ご入居者に対し、統一した口腔ケアを行う。
- ② 摂食・嚥下の取り組み内容をフロアで共有し実施する。

◆ レクリエーション、余暇活動等

～季節ごとの行事を行い楽しんでいただく～

- ① 毎月行事を行い、楽しんでいただけるよう、フロア会議で振り返りを行い、改善していく。
- ② 季節の感じられる行事を企画し実施する。



部署行動計画

特別養護老人ホーム 介護4階

令和4年度を振り返って

- 「その人らしい暮らしの継続」
一部達成、ご入居者主体でのケアを実践したが、職員主体のケアになっていたこともあった。しっかりとアセスメントを行い、職員が全員で考える。
- 「安心、安全な生活の保障」
ご入居者の状態・様子など少しの変化も気付き対応ができた。安心、安全を提供できるよう職員間の情報共有や協力体制を継続する
- 「清潔感あるユニット、フロアづくり」
一部達成、各々が意識も持って行動したが、清潔感に対しての考え方やポイントなど違うためフロアとして今一度、職員間で統一していきたい。

令和5年度 私たちが目指すもの

「ご入居者にいつもと変わらない生活と空間の提供とその人らしさを出せる個別ケアを提供する」

- ◆ その人らしい生活、暮らしの継続を支援する。
- ◆ より良いサービスを提供するため、職員の質の向上を図る。
- ◆ 安心・安全と思える生活空間の取り組み。

具体的行動

◆ ご入居者・ご利用者に対して

～その人らしい暮らしの継続を支援する～

- ① ご入居者の生活歴、状態を把握し、これまでの生活習慣を尊重する。
- ② 生活におけるプライバシーを守る。
- ③ ご入居者の生活場面で、自らの意志によって選択できるよう支援する。

◆ 職員として

～より良いサービスの提供するため、職員の質の向上を図る～

- ① 職員一人ひとりの介助方法を皆で見直し、介助方法の統一を図る。
- ② 職員の強み(得意)を引き出し、その強みを活かしたサービスを提供する。
- ③ 定期的に話し合いの場をつくり、各職員のスキルアップと介護の視野を広げる。

◆ 環境整備

～安心・安全と思える生活空間の取り組み～

- ① 居室、フロア共にご入居者のリスクになる所を把握し、改善することで安全な空間をつくる。
- ② 歩行器等定期的な洗浄とゆるみや空気圧のチェックを行う。
- ③ ご入居者、個々に合わせた居室の空間づくりを行う。

◆ ～美味しく食事を楽しんでいただくために～

～ご入居者に合った正しい口腔ケアを提供する～

- ① ご入居者の口腔状態を把握し、歯科と連携を図る。
- ② ご入居者個々に合った口腔ケア方法を把握し、職員間でケア方法と統一する。
- ③ 口腔体操や口腔内ストレッチなど行い、咀嚼、嚥下機能の維持・向上を図る。

◆ レクリエーション、余暇活動等

～レクリエーション、余暇活動の充実～

- ① 毎季節を感じることでできるレクリエーションを提供する。
- ② 個々に合った余暇活動を検討する。
- ③ ご入居者の意向を把握し、日々の活動や行事に取り入れる。

部署行動計画

特別養護老人ホーム 介護5階

令和4年度を振り返って

- ご入居者の要望や想いを尊重するような対応、ケアは普段通り行えた。
- 報告・連絡・相談が不十分なきが見られた。
- 環境整備について、業務多忙時、後回しになってしまい職員の意識も低いと感じることも見られた。
- 口腔ケアは行っているが、訪問歯科診療より口腔内の汚れの指摘もあり、更なる口腔ケアの統一、意識向上が必要と感じた。
- 全体でのレクリエーションや行事は行っているが、個別での活動については不十分であった。

令和5年度 私たちが目指すもの

「ご入居者・ご家族・職員が安心して楽しく過ごせる生活の場の提供」

- ◆ ご入居者の思いに沿った生活が送れるようサポートする。
- ◆ ご入居者の尊厳を保持、尊重し支える。

具体的行動

- ◆ **ご入居者・ご利用者に対して**
～24時間シートを活用し、ご入居者主体のケアを行う～
 - ① ご入居者自身の意志に沿って、日常生活を実現する。
 - ② ご入居者が自由に自分らしく暮らしていただけるようサポートする。
 - ③ ご入居者が望む暮らしの情報を共有し、統一したケアができるよう周知徹底する。
- ◆ **職員として**
～職員間、他職種間と連携を図り、情報を共有する～
 - ① 報告、連絡、相談の徹底。
 - ② 日頃より、早期発見、早期対応に努め、ご入居者の小さな変化に気付く。
 - ③ 適切な情報収集してケアに反映させる。
- ◆ **環境整備**
～4S(整理・整頓・清掃・清潔)～
 - ① 換気をこまめに行う。
 - ② 居心地の良い環境、空間づくりを行う。
 - ③ 各居室の衣類、荷物の整理整頓。
- ◆ **口腔ケア**
～食事をしっかり摂っていただけるよう口腔内を清潔にする～
 - ① 訪問歯科診療の先生、他職種と連携を図りながら、口腔内の清潔を保つ。
 - ② 食後の口腔ケア時は口腔内を確認する。
 - ③ 歯茎や口腔内の傷や出血などがいないか確認する。
- ◆ **レクリエーション、余暇活動等**
～心安らぐ時間をつくり笑顔がたくさん見られるフロア～
 - ① 四季の変化、移り変わりを感ぜられる時間を過ごす。
 - ② ご入居者一人ひとりに合わせた余暇活動を考える。
 - ③ テレビだけでなく、フロアや各居室にBGMを流すなど雰囲気づくりを行う。

部署行動計画

特別養護老人ホーム 介護6階

令和4年度を振り返って

- ご入居者・ご利用者に対して…ご入居者の希望や思いを大切に、ご入居者主体のケアを行うよう努めた。また、申し送りやノートの伝達、日頃のコミュニケーションを図ることでケアの統一に繋がった。
- 職員として…ABユニットの協力体制について、経験年数など職員によって意識の差が見られた。お互いに気付き合い、声かけしやすいユニットを目指します。
- 環境整備…掃除や整理整頓はできる限り行った
- 口腔ケア…口腔内の観察や状態の共有することで、訪問歯科診療の先生にも報告ができた。
- レクリエーション…季節に応じた飾りやレクリエーション(イベント)もできた。

令和5年度 私たちが目指すもの

「輪を大切に思いやりと笑顔と安らぎのあるフロア」

- ◆ チームとしての質を高める。
- ◆ アサーティブなコミュニケーションを図る。

具体的行動

- ◆ **ご入居者・ご利用者に対して**
～状況・状態に合わせたサービスの提供～
 - ① 一人ひとりの思いに寄り添ったケアを行う。
 - ② 24時間シートの活用。
 - ③ 笑顔で声かけを行う。
- ◆ **職員として**
～職員同士助け合い、働きやすい楽しい職場～
 - ① 意見や気付きがあれば、すぐに話し合える。
 - ② 情報を共有する。
 - ③ 心身共に元気に働く(悩みや困ったことがあれば、皆で助ける。)
 - ④ 安全な介護に努める(排泄、入浴、離臥床など)
- ◆ **環境整備**
～清潔感があり、季節を感じられるフロアづくり～
 - ① トイレ、洗面台はその都度、綺麗にする。
 - ② フロア、居室の換気と室温管理を行う。
 - ③ 食後は床などを掃除し、清潔保持に努める。
- ◆ **口腔ケア**
～美味しく楽しい食事～
 - ① 口腔ケアは、口腔内を観察し、異常に気付く。
 - ② 食事中、咀嚼や嚥下、食事形態が合っているか観察する。
 - ③ 訪問歯科診療や他部署の意見やアドバイスを受け、統一したケアを行う。
- ◆ **レクリエーション、余暇活動等**
～目で楽しむ、音で楽しむ、味で楽しむ～
 - ① 五感を刺激することで、いきいきした生活に繋げる。
 - ② 季節に応じたイベントを行う。
 - ③ 一人ひとりの楽しい時間をつくる。



部署行動計画

特別養護老人ホーム・ショートステイ 医務室

令和4年度を振り返って

- 今年度は感染性拡大により、専門職の方のご指導をいただき、委員会を立上げ、全職員が感染症対策に取り組むことができ、一定期間で収束することができた。今後、発症した際は、今回の経験を活かし対応していく。(1ケア1消毒の徹底)
- 日頃より職員間、他職種との報告・連絡・相談を行い、ご入居者の状態把握に努め、細かな変化、異常の早期発見ができた。今後も継続して情報共有を行い、情報管理を行っていく。
- 事故(転倒、誤嚥、誤薬)を未然に防ぐためにも、ヒヤリハットによる防止策を検討し、統一した対応にも取り組めており、継続する。
- 身体拘束についてもカンファレンスを行い、毎月の委員会開催で検討し、必要最低限に取り組めた。
- 口腔ケアについては、感染症拡大のため、定期的な往診とはならなかったが、引き続き訪問歯科診療の先生に助言をいただきながら、美味しく食事ができるよう、また食後のケアにも重点を置き継続する。
- 終末期にあるご入居者の家族に対し、意思決定を行う際の不安や迷いを共有し、選ばれた意志に沿って、尊重できた。

令和5年度 私たちが目指すもの

「感染対策を遵守して「安心・安全」を感じていただける看護の提供をする」

- ◆ ご入居者の健康を維持するために、感染予防に努め早期発見、早期治療、悪化防止に繋げる。
- ◆ 感染対策のため、1ケア1消毒を実施する。
- ◆ 速やかな初期対応で、風通しの良い環境づくりに努め、ご入居者が安心して生き生きと過ごしていただけるよう対応する。
- ◆ 最後まで安全に美味しく食事ができるよう支援する。

具体的行動

- ◆ **ご入居者・ご利用者に対して**
 ~ご入居者が生き生きと生活できるよう心温まるナースケアに取り組む~
 ① ご入居者、ご家族の意志決定を行う過程に携わり、適したケアを提供する。
 ② 事故(感染、誤嚥、転倒、誤薬)を未然に防ぎ、安全に落ち着いて生活ができるよう支援する。(マニュアルの活用、ヒヤリハット、転倒報告書による防止策を検討し統一した対応)
 ③ ご入居者の健康管理(1日の食事、水分摂取状況、便秘コントロール、体重増減)に努め、異常を早期に発見し、主治医への確に報告し、悪化防止、早期治療に繋げる。
- ◆ **職員として**
 ~同業種、他職種でコミュニケーションを図り、統一したケアが提供できるよう連携を深める~
 ① 毎日の申し送り情報で共有し、統一した看護ケアを明るく笑顔で行う。
 ② ご入居者の話をしっかり傾聴し、「公平」に対応する。
- ◆ **環境整備**
 ~医務室の物品整理を行うとともに、業務についても改善し、円滑を図る~
 ① 書類ファイルの整理を行う。(看護記録、看護日誌、歯科診療情報報告書)
 ② 常備薬(内服、軟膏)について薬局と連携を図り、整理整頓する。
 ③ 医療用品の整理をする。
- ◆ **口腔ケア**
 ~適切な口腔ケアを行うことにより疾患予防、口腔機能維持へと繋げる~
 ① 定期的な歯科往診で摂取機能の維持に対する支援を行う。(介助姿勢や介助方法)
 ② 摂食機能低下兆候があるご入居者に対して、カンファレンスを行い食事形態の見直しに必要なに応じて栄養補助食品の導入を行う。

部署行動計画

相談課

令和4年度を振り返って

- ご入居者の状態変化に伴いケアプランの変更や修正を行った。
- 入院などを経て大きく状態変化があったときは、医療機関へ情報提供の依頼や実際に訪問して確認を行った。
- ご家族へ面会案内を送付し実施予定期間外でも相談や希望に応じて柔軟に対応した。また入居者の状態が大きく変わった時は感染症対策のもと直接、会っていただいた。
- 職員の質向上と統一された支援の後方援助として、「施設内研修でコミュニケーション技術」や「記録の書き方について」講義を実施した。また介護福祉士資格取得のため、希望者に対して講座を実施した。
- 各部署、ご入居者・ご利用者、その家族からの相談や苦情に対して関係する所へ連絡を取ったり資料請求したりするなど対応を行った。
- 新規ご入居者、ご利用者の利用開始前には事前に関係部署と情報共有し面談を実施。得た情報をフィードバック後、ケアの方向性の確認や追加情報の収集を行った。
- 施設内外関係者と連携を取ることにあたり訪問歯科と介護・看護現場との連絡・調整役を担った。

令和5年度 私たちが目指すもの

「自立に向けた援助、入居者の自己決定を尊重、身体拘束廃止」を実現する。

可能な限り病気や障害から遠ざかり普通の生活へ近づけるために、残存能力・潜在能力の維持に向けた情報、健康に生活するための専門的な情報を提供・共有することによって、その人がその人らしく生きられるよう支援します。

具体的行動

- ◆ **ご入居者・ご利用者に対して**
 ~ご入居者の変化に伴う、区分変更と介護報酬の適正化~
 ① ご入居者の状態が変化した場合、ケアプランの変更と修正を行う。
 ② 効率的なケアカンファレンスを開催しブラッシュアップを行う。
 ③ フロアラウンドを行い、ご入居者の状態把握をする。
 ④ 感染症対策を考慮し、家族面会の実施・継続を図る
- ◆ **職員として**
 ~職員の質向上と統一された支援のバックアップ~
 ① 施設内研修の計画、実施または資料配布を行う。(年2~4回予定)
 ② 各部署へのヒアリングを実施する。
 ③ 資格取得への補助、支援をする。
- ◆ **環境整備**
 ~各部署へご入居者・ご利用者の正確な情報提供と共有~
 ① 状態変化や事故発生時におけるご家族への適確な電話連絡を行う。
 ② 苦情に対する対応の考案、それに伴う家族への迅速な説明を行う。
 ③ 各部署からあがった相談、案件を外部事業所、家族と調整し結果を迅速にリリースする。
 ④ フロアラウンドをおこない、職員からの相談、案件を解決へと導く。
 ⑤ 新規ご入居者・ご利用者の情報を介護、医務室、調理部に提供する。
- ◆ **口腔ケア**
 ~適切な口腔ケアを行うことにより疾患予防、口腔機能維持へと繋げる~
 ① 各部署や家族からあがった相談、案件を訪問歯科診療へ迅速にリリースする。
 ② 訪問歯科診療からあがった治療方針を家族へ迅速にリリースする。
 ③ 訪問歯科診療からあがったケア方針を各部署へ迅速にリリースする。
 ④ 新規ご入居者の情報を訪問歯科診療へ提供する。

目標 稼働率 【特養】90% 【短期】72%